平成 22 年度 総合問題（第一部 商経学科）解答例

1（150 点）

問１（30 点）

【採点のポイント】

・ 適切な文章量で述べられていること。
・ 本文中の表現や言葉が，過不足なく引用されていること。
・ 解答例で示した３つのポイントに触れられていること。
・ 漢字表記や文章表現の間違いがないこと。

【解答例】

社会人基礎力に対する取り組みに社会全体で対応していかなければならないのは，以下の理由による。第一は，国際的な人材育成における競争が高まっていて，特に中国を含めたアジア諸国では，国家・企業・大学等による人材開発競争が活発に行われている点である。第二は，人口減少社会が到来する日本では，個人一人ひとりの能力の育成が経済・社会全体の発展からも重要である点である。第三は，そのような状況にもかかわらず，従来の日本の人材育成を支えていた枠組みが必ずしも機能しなくなってきていると思える点である。

このことは，日本の若者の中には「なぜ働かなければならないのか」といった疑問が生じる人や，正社員として働きたい意欲を持ちながら，非正規社員としての仕事にしか就けない人が増加しており，従来のオンザジョブ・トレーニングといった形で，企業内で成長する機会を得ることが難しくなっているということと関連している。このような変化の下，従来以上に社会人基礎力の育成の土台を強化していく必要がある。

問２（40 点）

（１）

【採点のポイント】

・ 資料から正しく読み取れるものであること。
・ 資料で示された項目や数値を単純に説明するだけではなく，複数の項目をまとめ，共通する傾向など，より深い分析をおこなっていること。
・ 一方の資料から読み取れることだけではなく，両方の資料をあわせた分析ができていること。
・ 上記のポイントに照らした的確な読み取りをおこなっていること。

【解答例】

・ 大学で身についた学習成果として最も多いのが，「コンピュータを使って文章・発表資料を作成し表現する」で，約 75%の学生が身についたと答えている。
・ 学習成果の下位に位置づけられているものには，学生自身が自ら積極的に行動することが求められている項目が多い。
・ 全体としてみた学習成果については，身についたと回答している割合が，全く身についていないと解答している割合より多い。

・　学習成果と企業が新入社員の選考で重視している点を比較した場合，選考で重視している点と学習成果の上位に位置しているものは一致していない。

（２）

【採点のポイント】

・　資料から読み取れないことが適切にあげられていること。
・　指示どおり，２つあげていること。

【解答例】

・　学習成果については，大学全体の数字しか示されていないので，大学の規模・地域・文系理系など，細かな分類がわからない。
・　調査方法の詳細や調査時期について，示されていない。

問３（20 点）

【採点のポイント】

・　指定した字数を守っていること。
・　２つの資料の内容を踏まえた解答になっていること。
　例えば，以下のような点に着目していること。
　　大学で学ぶこと全てが大切である。
　　目先のこと，自分の関心のあることだけに注意を向けない。
　　自分に必要な能力を深く考える必要がある。

【解答例】

・　大学で行われている全ての勉学は重要である（20 字）

問４（20 点）

【採点のポイント】

・　指定された英文を全て正しく訳していること。
・　日本語として意味の通じる文章になっていること。

【解答例】

　PISA は読解に関する基礎能力として，生徒が自分の人生の中で様々な場面で出会う状況において，書かれた情報を使いこなす能力を測っている。これは，伝統的な情報の解読や言葉の解釈という観点を超えたものである。生徒は，様々な種類の文章を見せられ，情報を検索し，文章を解釈し，自分が読んでいるものについてよく考え，評価することを求められるのである。

問５（40 点）

【採点のポイント】

・　適切な文章量で述べていること。
・　「大学での学習」とはどのようなものかについて述べていること。

・　与えられた資料と関連づけて述べている記述があること。
・　自分の考えや主張が明確になっていること。

【解答例】

大学での学習には，教科書を持参するとか宿題や課題をきちんとやるといった，当たり前の取り組みだけではなく，自らが積極的に活動し，自分の考えをわかりやすく発信できる能力を身につけるための努力が大切である。そのことは，協調性やコミュニケーション能力を重視する企業での選考試験でも有利になると思われるので，希望する就職を実現させるためにも必要である。また大学で学ぶ時には，単に多くの知識を覚えることだけではなく，学んだ知識を自分の生活の中で活かすことができる，生きる力を身につけていくことにつながるように，勉強することが望まれているのではないだろうか。

2（50 点）

問１（10 点）

【解答】

求める保険料を P とする。資料１の式より，

100×P＝2×10,000

が成り立つ。

P＝2×10,000／100＝200

答え 200 円

問２（20 点）

【解答】

求める人数を N とする。表１の死亡率より，

N＝100,000×0.00114＝114

答え 114 人

問３（20 点）

【解答】

求める現価を V とする。資料２の式より，

$V=121{,}000/(1+0.1)^2=121{,}000/1.21=100{,}000$

答え 100,000 円